

【様式 1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	青森県
取組市町村名 取組団体・企業名	鰺ヶ沢町（鰺ヶ沢町立舞戸小学校、西海小学校）
取組の名称	総合的な学習の時間・社会科と連携した食に関する「地産地消」学習と農作業体験の実施
実施時期	6月15日（木）、22日（木）、23日（金）、26日（月）
取組内容に該当する 食育ピクトグラム	  
取組内容	○総合的な学習の時間・社会科と連携した食に関する「地産地消」学習 【日 時】令和5年6月23日（金）5校時 【場 所】舞戸小学校 視聴覚室 【目 的】鰺ヶ沢町で生産されている食材や地産地消の良さを理解し、地域の食文化を大切にしようという意欲の啓発を図る。 【対 象 者】舞戸小学校 第3学年 35名（39名在籍・4名欠席） 【実施内容・特徴】 総合的な学習の時間「地域を知る」と社会科「地域の農業」と連携し、栄養教諭が食に関する「地産地消」学習を実施しました。 第3学年は、総合的な学習の時間に「あじがさわしらべたい！」として鰺ヶ沢町の特産物について調べ学習を、社会科では町の農業についての学習を行っています。 22日は、総合的な学習の時間に鰺ヶ沢町の特産物であるアスパラガスの収穫体験を行い、生産者の方や農協の方からお話を聞き、アスパラガスへの理解を深めました。   23日は、鰺ヶ沢町産のアスパラガスを使用した給食を提供し、5校時に食に関する指導を実施しました。令和3年度から実施している地元食材利用給食を振り返りながら鰺ヶ沢町ではアスパラガスをはじめ、多くの食材が生産されていることや、地域で生産されたものを地域で消費する「地産地消」の良さについて学習しました。

「地産地消」の良さとして、時間やお金がかからないというメリットの他に、地域の人とふれあうことができる、おいしいものを知ることができる、という前日の体験学習や当日の給食から感じたと思われる意見も挙がりました。各教科と連携し、給食を教材として活用することで、それぞれの学習の理解を深めることができました。

○農作業体験

【 日 時 】 令和5年6月15日（木）

【 対 象 者 】 西海小学校 第3・4学年 （13名）

【 目 的 】 農家の仕事や流通をはじめ、農作業の苦労、喜び、願いを調べる。

【実施内容・特徴】 アスパラ収穫体験

【 日 時 】 令和5年6月26日（月）

【 対 象 者 】 舞戸小学校 第5学年 （24名）

【 目 的 】 日本の食糧生産についての理解を深める。

【実施内容・特徴】 田植え体験